

# ふかまちのまど

第五号 〇七年〇一月一日  
 発行所 深町町内会連合会  
 連絡所 六三三三八二

## 新年を迎えて

町内会連合会会長 高崎修

新年明けましておめでとうございませう。  
 深町町民の皆様方には、気持ちを新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、町民各位のご協力により、敬老会こそ台風のため中止しましたが、他の行事はつづがなく実施することが出来ました。今後とも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。世相は景気の上昇により、庶民には実感は薄いとはいえないものの、経済的には、かなり落着いてきたのではないのでしょうか。しかし、事件・事故は後を絶たず、子供や老人等弱者の被害が多発し、深町のような田園地帯でも油断出来なくなり、精神的には困らなくても、精神的な余裕の無さが問題であったり、同じ事を見ても人それぞれ受け取り方が多様化して、人間関係がぎくしゃくしていることもあるかも知れません。気持ちの持ち方、考え方も出来るだけ明るく元気の出る方向へ変えて行くことも必要と思えます。そこで、精神科医であり、作家としても有名な斎藤茂太先生の、より楽しく生きるコツを紹介させていただきます。



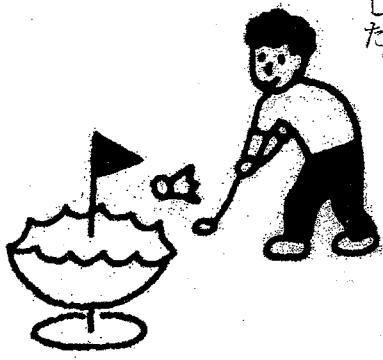
- 一、「ありがとう」と声に出す。小さなことでも、ありがとうと声に出して心から感謝する。
  - 二、「やってみよう」と言ってみよう。迷った時には、とにかくやってみよう。と声に出すと勇氣や力がわいてくる。
  - 三、「幸福だ」と受け止める。先生の母上は空襲で家も病院も丸焼けとなっても家族が助かっただけで幸せだと言われた由。
  - 四、「こう生きよう」と目標をもつ。もう年だからとあきらめず、目標をもって美しく年をとります。
  - 五、「一笑一若、一怒一老」。先生の信条であり、笑う門には福来ると言い、自分も周囲も明るくなる。
- 斎藤先生の生き方を参考に、今年を明るく元気に過ごして下さい。 ▲▲

「ふかまちのまど」のホームページのアドレスは  
<http://www.jcat.ne.jp/fuka/top.html>  
 (ふかまちのまど編集室)  
 ※先月掲載したアドレスは一部誤りがあり、お詫びします。(誤りの箇所) jp./ (正) jp/  
 ※下記の如水館のホームページにもリンクしていますので、こちらからもご覧頂けます。  
<http://www.josuikan.ed.jp>

## ターゲットボードゴルフ大会

上組 天木 雅之

十二月十日(日)、世羅町若田湖ターゲットボードゴルフコースにて、甲山地区ターゲットボードゴルフ大会が町内、町外の部門別として個人戦が十八ホールストロークプレーで、十三名の参加で行われました。コースの設定で、狭く曲がったコースやクリークなどに加えて風も吹き、悪戦苦闘しました。深町からは男女五名が参加し、二名が九〇を切る好スコアを記録しましたが、入賞はできませんでした。



ターゲットボードゴルフは始まって今年で二〇年になるのですが、広島はまだ後進県だそうなので、深町民のみならず運動を兼ねてやってみませんか。今後の予定は、グラウンドゴルフと合わせて第二、第四日曜日の午前八時より深小グラウンドに行います。腕に自信のある方、興味のある方、一緒にやりましょう。 ▲▲

## 深小だより

あけましておめでとうございます  
 今年も深小学校・深幼稚園をよろしく願っています。  
 今年二月二十八日(日)には小学校で恒例の新春ふれあい広場を開催します。ご案内が届いていないと思いますが、みなさまおそろいでお出かけください。子ども

## 女性会だより

### リサイクルバザー

深町女性会

女性会では、活動の一部として、十一月二三日、「リサイクルバザー」を開催いたしました。会員の皆様のご家庭で眠っていた洋服、縫いぐるみ、牛乳パックを利用して作った椅子、又、家庭菜園で出来た新鮮で美味しい野菜の数々、主婦ならではの自慢の漬物、米、小豆、ぎんなん、椎茸、キウイ、みかん等々、沢山出品していただき、素敵なお店ができました。



午前中は、準備、午後は一時より開店。人気商品は「ジャンケンポン」で決め、喜んだり、悔しがったり。残った商品は一ヶ所に集め、皆で輪になり、さやかな「オークション」。値段を少しずつ下げ、あつという間に売り切れ。(古着は少々残りでしたが、.)にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。会員の皆様ご協力ありがとうございました。 ▲▲



前日の二十七日(土)には尚寿会や町内のみなさまのご協力をお願いしてとんどを組み立てる予定です。見学の方も歓迎です。  
 登下校の見守り、生活科や総合的な学習の時間での様々な学習などで、今年もお世話をかけさせていただきますが、子どもたちが深町のことを知り、深町を大切に思うようになってほしいと願って教育を進めております。どうかご支援をよろしくお願いいたします。 ▲▲

## 深町各種団体一月行事予定

- ◆町内会連合会
  - ▼役員会 二十日
  - ▼ビーチボールバレー大会(リージョンプラザ) 二十一日
- ◆下組町内会
  - ▼総仏法要 十一日
  - ▼とんど祭り 十四日
- ◆消防団
  - ▼出初式 七日
- ◆小学校・幼稚園
  - ▼始業式 九日
  - ▼集金日 十日
  - ▼貯金日・保健指導 〇
  - ▼体位測定 〇・諸雑費集金 〇
  - ▼PTA役員会 十二日
  - ▼深町子どもを守る会十七日
  - ▼英語活動・テーマタイム・お楽しみ会 〇 十九日
  - ▼避難訓練 二三日
  - ▼ふれあい広場・ぴよぴよハウス 二八日
  - ▼読書発表会 三一日
  - ▼如水館中学・高校 〇
  - ▼中学入学試験 五日
  - ▼中学・高校始業式 九日
  - ▼高校入学試験 二二日

## 展望席

近頃はあまり見かけなくなりましたが、江戸時代末期、農政の改革家として活躍した二宮尊徳(金次郎)が、少年時代に背中を背負い、手に本を持って読んでいた姿の銅像が一部小学校の校庭に立っています。貧しい生活の中で、厳しい労働に従事しながらも寸暇を惜しんで、懸命に勉学に勤しむ姿を象徴した銅像だと思えます。昨年は、全国各地の高校において、必須科目(主に世界史)の未履修が発覚して大きな問題になりました。未履修の大きな理由は大学の受験対策のため当該授業を省いたとのことでした。二宮尊徳はどんな科目を一生懸命勉強していたかは知りませんが、少なくとも目先の「ソントク(損得)」を考えて勉強していたとは思われません。目先の損得に惑わされ、当然なすべきこと、人間として大事なことをおろそかにしてはいけないと思えます。受験に失敗したからといって、それで人生が終わってしまったわけではありません。失敗から立ち上がって成功した人が多いのも事実です。学校を卒業して、社会人になっても勉強することがいっぱいあり、学校での勉強を改めてできないものではないです。高校生の皆さんは今のように学校で学べることは確実に学んでいただきたい。国際社会において、しばしば歴史認識が問題にされることがあります。新年を迎え気持ちも新たに、しっかり世界史をも勉強し、より視野を広くしてもらいたいと思えます。

深町六年史(十五)

下組 小林 徳蔵  
二十五章 丁亥(ひのとい)年頭偶感―二〇〇七年

1 明るい新春

新年おめでとうございませう。今年一番のプレゼントは「ふかまの支障」が如水館中。高橋の支障で、インターネットのどなたにでも読んでもいい。ぜひ「深町」を標榜し、外に開かれた深町の実現は、思えば長年の夢でした。

2 夢に日付を

昨年の暮れ、ふと立ち寄った本屋にわたしの目をひいた書名がありました。★「夢に日付を」というのです。付といえは... 日付といえは... 日付といえは...

3 下組町内会が実現したいと思つた夢は平成二年

平成二年七月、山中学園理事長から下組町内会長宛に第二グラウンド造成への協力依頼の手紙が届いた。これは前記の通り、下組町内会が描いた夢の時の時、

盲養護老人ホーム「白滝園」と深の子供達(2)

元深小学校教諭 石井哲代

Ⅱ 次の年は、五、六年生で白滝園を訪ねる事になりました。五、六年生で合奏や合唱を一生懸命練習しました。そしてお土産に、おじやみを作つてあげることになりました。

この年も久保さんの御好意で先に、ニコニコ牛乳工場の見学をさせて頂きました。今年もニコニコ牛乳の試飲をさせて頂き、更に改善された工場内を見学させて頂き、感動しました。

①活気ある地域―子ども、青年の姿が目に映り、声が響く地域。  
②藤井川、綱掛川、稚子溪流の災害防止が強化された災害のない地域。

4 上中下町内会共通の夢に近づこう、平成二年

三町内会割拠の続く深町内を一つながりの夢は、全町をカバる交通網を構築する。①交通安全、特に通学路の安全確保。河川改修を施工する。②「深町」を標榜し、外に開かれた深町の実現は、思えば長年の夢でした。

5 天の時、地の利を得て(平成三年)

平成三年後半、山中学園第二グラウンド造成計画に大きな変化がありました。①平成三年六月、山中学園では男子校の工業と女子校の商業を統合し、深町に新校舎を建設。②同年七月、溝手市長は市内各中学校の校区内移転の意向を公表しました。中、下組町内会もこの状況を踏まえ、校区内移転の意向を公表しました。

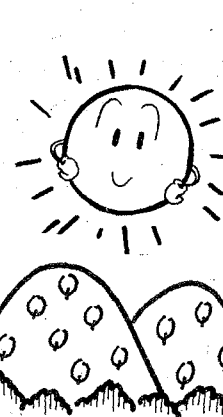
合奏をしたり、合唱をしました。一緒に遊んだり、本気で真剣に話をしたり、おじやみの製作をしました。感動!! 感激!! 誠心誠意、拍手を頂きました。



その後、お土産のおじやみを手渡して、一対一で遊びました。「赤い色の菊の模様ですよ。」「みどりの松の模様ですよ。」など、おじやみの布の模様の説明をしながら遊びました。「そうなの、そうなの。大事そうに、いとおしく遊ばせてあげよう!!」と喜んで下さいました。

6 夢実現への仕組み

平成四年九月、山中学園敷地造成工事の説明会の席上、「建設工事共同企業体から深町へ、建設元との窓口「対策協議会」を要望されました。深町連絡会は地元を代表してこれを約束しました(註、十六章参照)



7 「対策協議会」は難産

平成四年九月、対策協議会設立の動議が冒頭、執行部不信任の動議が通つてしまひました。執行部の対応は、十七日を参照したいところです。この時、対策協議会の立ち上げには失敗したのですが、緊急ではきまなせんので、出すわけにはいきません。

8 動く対策協議会―山中学園移転深町協議会設立

平成四年十月、紆余曲折(うよきよくせつ)を経て「山中学園移転深町協議会」を設立しました。この会には、上、中、下組町内会全体を統括する機能を持つ。この会の状況が改められたのです。開いたの時に、地帯の利を得て機は熟してきました。

9 偶感後記

「深町六年史」は、一昨年十月からの連載で、一章、二章とついで二十四章までを書いた。私自身、夢を記している。その中で、ふかまの製作の思い出が、無限の长空へ舞い上つて行くように思います。

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ  
孫一人居候して翁と婆 振り回されて目は血走りて  
青空にグランドゴルフの音響き  
和気あいあいの一時は過ぎ  
山茶花は一重に八重に庭に咲き  
味気なき初冬わが家彩る

歩く会に参加して(1)

宗郷4丁目 (元深町在住) 力石卓夫

或る日からから御地の歩く会が催される事を知り、懐かしく郷愁を覚え歩いてみたいの思が募り参加させて頂きました。今回は好天の赤石を尋ねるとの事。十月十四日(土)秋晴れの好天気の中公民館に趣き来ました。お世話をして下さる方から資料の配布を受け、早速稚子峠に向つて歩き出しました。近代的な民家もある中、昔の儘の光景も沢山残っていました。道中見ると道端の草花も子供を迎えてくれたように思え、私を導いてくれたように思え、歩いた。ただ田圃の一枚一枚が子供の時、たまたま少しく大きかつたと思つていた。道ももつと大きくなりました。道ももつと大きくなりました。道ももつと大きくなりました。



やがて一行は集落から徐々に登り坂になる山道に入つて来ました。雨の煙には、たわわに穂の穂を枝が重そうに吊り上げていた。幼いとき皮も剥かず頬張つたことを思い出したら、顔も頬もなくなつた。やがて道は下りに入つてすぐのところ、年代を感じる風化した道標が目に入った。この道は、先人達が夏の暑いなか行き来し、冬、冬の吹雪くなかを足早に家族が待つ温かい我が家に心の手が入つた道であつたらう。口石もあつたりして歩き難い。足元に気を配りながら下る。それでも落ち葉を踏みながら歩く感触は、足にやさしくアスファルトに固められた道では味わえない。元気をくれます。

ピッコロだより

昨年、パンジー、葉ボタン、野菜の苗などお買い上げの皆様、いかがですか? お花はきれいに咲いていますか? 野菜の収穫は?



今年抱負をいっぱい秘めて新年を迎えました。ハウスの中は寒さに耐え、春を心まことにまつ可愛い苗で年明けです。三月頃にはガザニア、ペチュニア、サルビアなど咲きあがります。どこよりも元気いす。今年の苗作りを目標にしたいです。

子ども会会長 小川和彦

新春の候、町内の皆様方には、平素より子ども会活動に格別のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、初春に因んで六年生の子どもの「将来の夢」を紹介いたします。 ▲ ▲

六年 村井 寛太

ソフトボールの思い出

ぼくのソフトでの一番の思い出は、ゆうわ会で、三位になったことです。

一試合目は二対一で勝って、二試合目も四対二で勝ちました。三試合目では負けてしまったけれど、表彰式で盾をもらってうれしかったです。



将来の夢

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手です。野手では、ヒットがたくさん打てる器用な選手になりたいです。投手では、三振のたくさんとれる直球の速い選手になりたいです。

プロになれなくても、草野球でもいいから、野球を続けていきたいです。高校では、甲子園にも出てみたいです。

六年 小林 健人

ソフトボールの思い出

ぼくは、一年生からずっとソフトボールをしてきました。その中で一番の思い出に残ったのは市子連の大会です。

ぼくは、この大会では、ずっとピッチャーをしました。一回戦は〇点に押さえることができました。二回戦では一点をとられて負けてしまいました。でも、三位になることができました。

この三位は、チームメイトと協力しあったり、監督やコーチの励みがあったり、とれた三位なので、忘れられない大会になりました。

六年 小川 由祐

ソフトでうれしかった事

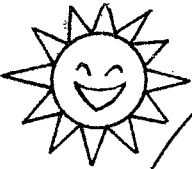
新しいチームになって、あまりいい成績が出せなかった時、ゆうわ会で初めて三位になった事が、一番うれしかったです。



将来の夢

ぼくは、六年間ソフトを頑張ってきたので、将来は、プロ野球選手になりたいです。マリナイズで活躍しているイチロー選手のように、一年に二百本のヒットが打って、守備も上手な選手になりたいです。

将来の夢



将来の夢

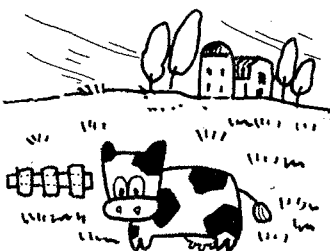
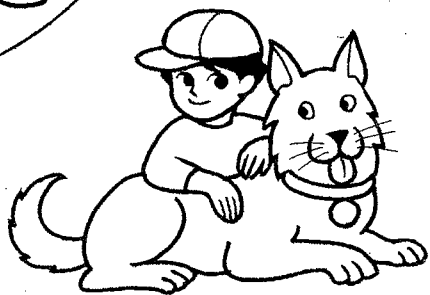


ぼくの将来の夢は、父と母の手助けをすることです。ぼくが学校に行けるのは、父と母のおかげなので、早く大きくなって一生懸命働いて、少しでも楽をさせてあげたいです。

六年 斎藤 達也

将来の夢

ぼくは、将来獣医になりたいです。獣医になって、自分で病院を建てて仕事をしたいです。なぜぼくが獣医になりたいかというのと、動物が好きだからです。特に犬が大好きです。獣医になれば、たくさん動物の命をいれるんな病気や事故から救ってあげたいです。もしなれなかったら、動物の研究をしていきたいです。これからたくさん勉強して獣医になれるようにがんばりたいです。



六年 伊藤 光佑

将来の夢



ぼくの将来の夢は、料理評論家になることです。なぜなら、いかというところ、ぼくは食べるのが大好きだからです。

料理評論家になるためには、何でも食べなくてははいけません。でも、ぼくは、きらいな食べ物がいっぱいあるので、無くなるように努力したいです。また、食べるだけではなく、自分でも料理を作ったりして、味の研究をしていきたいです。

六年 田代 万桜

キックベースでの思い出

私のキックでの一番の思い出は、市子連の大会です。チームのみんなと協力して、守備や攻撃をがんばり、ベスト八に入ることができたからです。選手宣誓も体験することができました。私は、六年間キックをやってきました、仲間と協力し合うことの大切さを学びました。それに他の学校と試合をすることによって、その学校の人たちと友達になることもできました。

将来の夢



私の将来の夢は、薬剤師です。薬剤師になって、様々な病気で苦しんでいる人々を一人でも多く救いたいです。

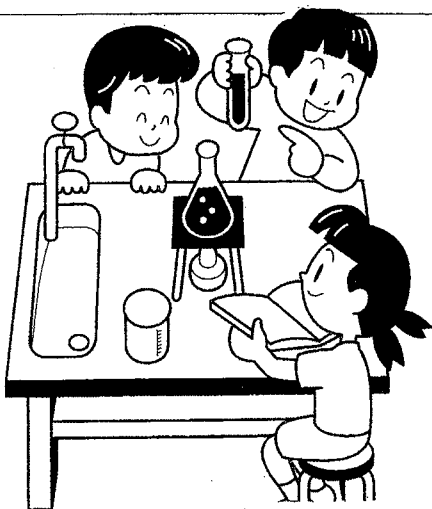
六年 前田 孝尚

ソフトで一番うれしかった事

ぼくは、みんなよりおそく、四年生からソフトを始めたのでほかの人に早く追いつけるように練習でがんばりました。一生けん命練習をして、フライがちゃんと捕れるようになった時がうれしかったです。

練習試合では、捕れないと思っていたライナーに思いきり手をのばして捕れた時が一番うれしかったです。

将来の夢



ぼくの将来の夢は、化学者になる事です。その理由は、新しい薬を發明して、治らない病気で苦しんでいる人々を助けたいからです。